

## 評価基準

審査項目		配点
会社概要・実績等に関する項目		
会社の基本理念が明確で組織体制が業務目的の達成に適しているか	①	10
外国語指導助手（以下「ALT」という。）業務について十分な受託実績を有しているか	②	10
業務内容に関する項目		
国際理解教育・英語教育の授業に関する内容の趣旨を踏まえ、授業を補助することが可能か	③	5
常に最新の教材を準備し、豊富に提供できるか	④	5
期待される日数・時間数・校数で業務を履行できるか	⑤	5
同一のALTが授業を行う等、授業の継続性を保つことができるか	⑥	5
ALTの採用および人材育成に関する項目		
ALTの資質が学校教育に適正であり、採用体制・採用基準・採用方法等が業務の実施に適しているか	⑦	5
採用時・配置後の研修および勤務評価・指導が適切に行われるか	⑧	5
ALTの管理体制に関する項目		
ALTの勤務状況の把握方法、連絡・相談体制・その他労務管理の体制は適切か	⑨	10
危機管理体制に関する項目		
ALTが関係する事故等への体制、欠員等が生じた場合の対応方法・各種保険への加入等は適切か	⑩	20
経費に関する項目		
事業に係る経費が妥当であり、業務の提案内容と整合性がとれているか	⑪	20
合計		100

審査項目ごとに、各委員（5名）の評価点を加算し、5で除した点数を、その審査項目の評価点とする。

評価点の合計が最も高く、70点以上の者1者を最適提案者として選定する。なお、該当者が2者以上あったときは、審査項目③～⑥を合計した評価点が高い者を最適提案者として選定する。

委員の各審査項目評価方法は次のとおり。

- ・ 極めて良好 配点×1.0
- ・ 良好 配点×0.8
- ・ 普通 配点×0.6
- ・ やや不十分 配点×0.4
- ・ 不十分 配点×0.2
- ・ 提案無, 評価不能 配点×0